

2011年8月23日、福島県いわき市小名浜地区

## 聖テモテ・ボランティアセンター活動開始！

皆さまの力をお貸してください

東北教区司祭 ピリポ越山健蔵  
(いっしょに歩こう！P小名浜ベース長)

3月11日の大震災から早や4ヶ月が過ぎました、震災当初日本という国が一体となる、「絆」という文字がメディアに溢れていました。時が経つにつれ、ある地域は普段と変わらない日常の世界が戻ってきました。徐々に震災の悲惨さが人々の関心から消えつつあります。しかしながら被災地の現実、あまり変わっていません。むしろ深刻になっています。帰る家無し、帰る故郷無し、放射線の恐怖で窓を締め切り外で遊べない子どもたち、作物を作っても売れない、漁にも出られない、仕事も無い…状況にあります。まだまだ私たちを必要とする身近な人々がたくさんいらっしゃいます。

日立ボランティアセンターが6月一杯で閉所になり、再開が待たれていました。「いっしょに歩こうプロジェクト」(本部仙台オフィス)との中で、また関係者の熱意で、京阪神三教区、北関東教区が世話役となり8月23日(火)聖テモテ・ボランティアセンターとして、小名浜聖テモテ教会をベースに活動を再開いたします。40歳以上の方ならどなたでも大歓迎です。あなたの力を是非お貸してください。お待ちしております。主に在って

「自分の意思を行うためではなく、わたしをお遣わしになった方の御心を行うため」(ヨハネ6:38)

## 被災者に励ましと勇気を

北関東教区 司祭 アンデレ斎藤英樹  
(聖テモテ・ボランティアセンター委員長)

日立ボランティアセンターでは、約3ヶ月の間に述べ130人超の方々が神戸、大阪、京都各教区から駆けつけてくださいました。40歳以上の方々は日立から毎日福島県いわき市小名浜へ通い、泥カキや催しもの(足湯・屋台・炊き出しなど)をしてくださいました。40歳以下の方々は小名浜へ入れませんので、日立、水戸で復興のお手伝いをしてくださいました。日立の教会はいち早く屋根からブルーシートがなくなりました。幼稚園の剥がれ落ちた壁は修復され、信徒の家や近所の方々の家の後片付けに汗を流してくださいました。

目に見えるこれらの働きによって日立、水戸の教会はどれだけ多くの励ましが与えられたか分かりません。勇気と活気をたくさんいただきました。その感謝を今度は福島の方々、いわきの方々にお分けしたいと考え、小名浜での働きに参加することにいたしました。日立、水戸の教会を始め、北関東、東京、横浜教区の諸教会から小名浜へ参集し「いっしょに歩こう！プロジェクト」に参加し、日本聖公会の絆を深めてください。お待ちしております。

「いと小さきもの一人になしたるは、すなわち我になしたるなり」(マタイ25:40)

## 聖テモテ・ボランティアセンター

# ボランティア募集要項

募集期間:2011年8月24日～

場 所:聖テモテ・ボランティアセンター

日本聖公会 小名浜聖テモテ教会内

〒971-8165 福島県いわき市小名浜愛宕町 16-2

電話 080-4249-5469、ファックス 050-3682-2870

Eメールアドレス [onahama.walk@nssk.org](mailto:onahama.walk@nssk.org)

ホームページ <http://nssk.org/walk/onahama/>

活動内容:聖テモテ・ボランティアセンターが計画する以下の活動に従事。

- \*瓦礫撤去、側溝清掃 (いわき市久ノ浜地区等)
- \*聖公会の教会、幼稚園等への奉仕 (園庭の花壇作り等)
- \*その他

[状況の変化によってボランティア内容が変わることがあります。]

募集条件:40歳以上、かつ、出来るだけ長期間(原則として連続して5日以上)活動できる方。

- \*滞在費として1日1,000円センターにお支払いください。(朝食、夕食材料費、水光熱費として。)
- \*昼食、銭湯代(700円)等は各自の負担です。(センター備え付けのシャワー使用は無料です。)
- \*センターまでの交通費は支給しません。(交通費補助を行う教区もあります。)

用意するもの:瓦礫撤去等の作業が出来る服装(作業着、帽子、防塵マスク、手袋、長靴等)。

センターにも若干予備があります。

ボランティア受け入れ可能人数:1日当たり男性3名、女性3名。

- \*スペースの関係上受け入れ人数を制限します。人数をオーバーした場合、受け入れができないこともあります。
- \*日曜日の午前中は、教会の礼拝に出席するため、作業はありません。

申込方法:申込用紙を、各自が所属する教区事務所に提出して下さい。教区事務所からセンターに申し込んでいただきます。

\*宿泊場所は小名浜聖テモテ教会敷地内に設置された仮設プレハブです。センターには寝具の用意があります。寝袋を持参されても結構です。

\*駐車スペースがありませんので、公共交通機関をご利用ください。最も近い駅は、JR常磐線「泉」駅です。駅まで現地調整者が迎えに行きます。

\*小名浜は放射線量の低い地域ですが、活動によっては放射線量の比較的高い地域に行くこともあります。そのことを十分考慮したうえで申し込んでください。